

営業本部/東京都品川区西五反田1-13-5:03-3492-4460 最新の連絡先はホームページhttp://www.dnlighting.co.jpをご確認ください。

### 安全に関するご注意

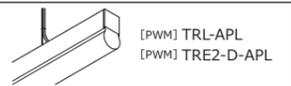
- 適合照明器具の取扱説明書と併せてよくお読みの上、正しくお使いください。適合照明器具以外は使用できません。
- 専用電気工事が必要な場合があります。取付工事は、必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は、法で禁じられています。素人工事をおこないますと、感電、火災の原因となることがあります。

### 保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置、モジュール含む)には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。  
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による)
- LED光源は寿命がきてても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

### 適合照明器具一覧

#### 明るさ感のある 側面(3面)発光タイプ



#### まぶしさを抑えた 1面発光タイプ



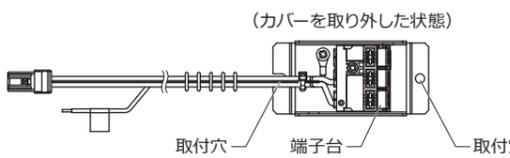
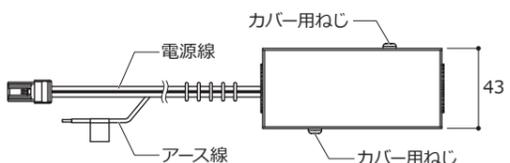
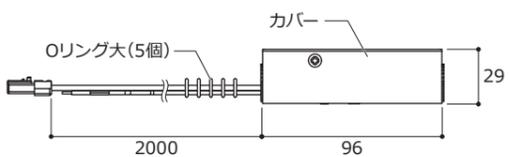
## 各部の名称と外形寸法

### 電源入力用ボックス

#### ●TRC-DP-WH

本体: 鉄  
付属品: 結束バンド 3個  
取付ねじ 2個

単位:mm



### 信号入力用吊具(別売)

#### ●PF-PDP(給電穴付き)



本体: 鉄, 黄銅  
付属品: 六角レンチ 1個  
結束バンド 3個  
Oリング大 10個  
Oリング小 10個

#### 吊具(別売)

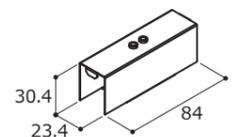
#### ●PF-PD(給電穴なし)



本体: 鉄, 黄銅  
付属品: 六角レンチ 1個

### 連結金具(別売)

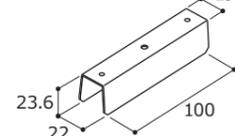
#### ●TRE-JT-WH/BK(TRE2/TRL用)



単位:mm

本体: 鉄  
付属品: 止めねじ 2個

#### ●TIE-JTP(TIE用)



単位:mm

本体: 鉄  
付属品: 取付ねじ 2個

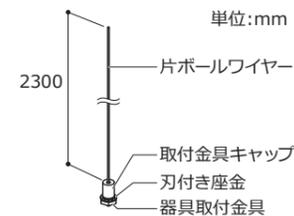
### 安全上の注意

### 警告

- 取付工事やLEDモジュール交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 必要な作業以外の分解、改造は絶対に行わないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。
- 傾斜天井、壁面への取り付けはしないでください。落下の原因となります。
- 適合照明器具以外は使用しないでください。落下の原因となります。
- 振動のある場所には取り付けしないでください。落下の原因となります。
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。

### ワイヤー(別売)

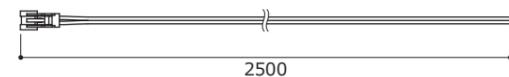
#### ●TRC-PWD2300WH



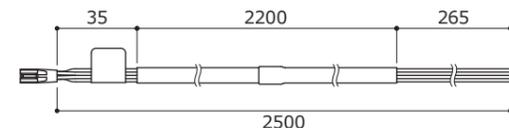
ワイヤー: ステンレス  
キャップ: 黄銅  
器具取付金具: 黄銅  
付属品: 圧着スリーブ 1個

### 調光(調色)信号コード(別売)

#### ●SKCP2500片切り(調光用)

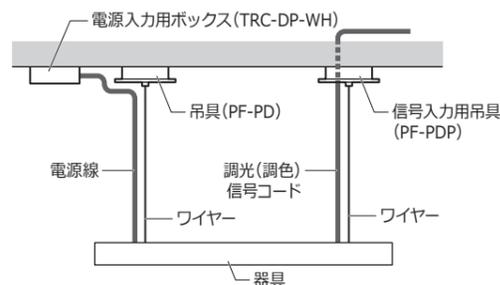


#### ●HKTP-WH2500片切り(調光調色用)



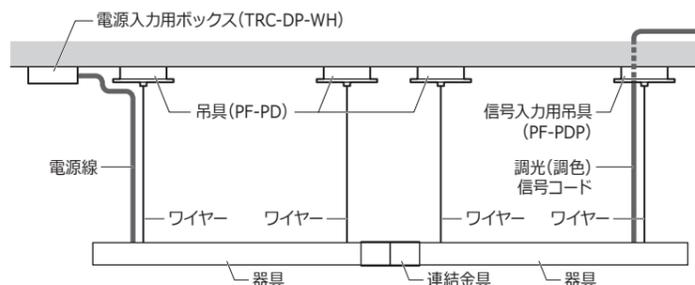
## 構成部品と配線方法

### ■単体 [PWM 調光] の場合



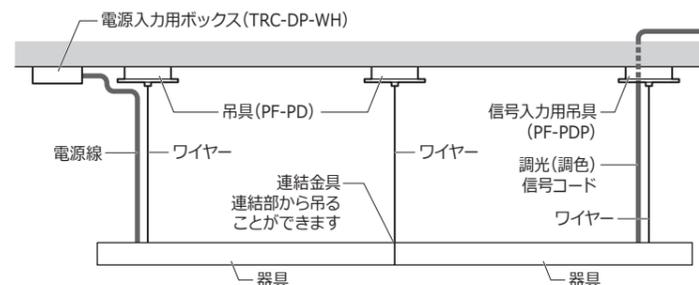
構成部品	数量
器具 (TRE2/TRL/TIE)	1
電源入力用ボックス (TRC-DP-WH)	1
吊具 (PF-PD)	1
信号入力用吊具 (PF-PDP)	1
ワイヤー (TRC-PWD2300WH)	2
調光(調色)信号コード	1

### ■連結 [PWM 調光] (TRE2/TRL) の場合 ※最大連結灯数 10台



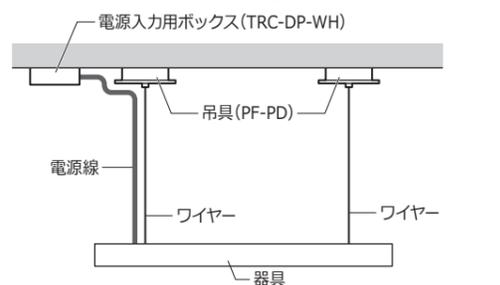
構成部品	数量	数量の考え方
器具 (TRE2/TRL)	2	器具の数量を(A)とする
電源入力用ボックス (TRC-DP-WH)	1	
吊具 (PF-PD)	3	(A×2) - 1
信号入力用吊具 (PF-PDP)	1	
ワイヤー (TRC-PWD2300WH)	4	(A)×2
連結金具 (TRE-JT-WH/BK)	1	(A) - 1
調光(調色)信号コード	1	

### ■連結 [PWM 調光] (TIE) の場合 ※最大連結灯数 7台



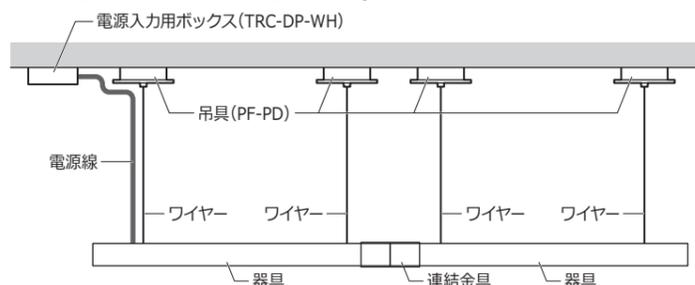
構成部品	数量	数量の考え方
器具 (TIE)	2	器具の数量を(A)とする
電源入力用ボックス (TRC-DP-WH)	1	
吊具 (PF-PD)	2	(A)と同じ
信号入力用吊具 (PF-PDP)	1	
ワイヤー (TRC-PWD2300WH)	3	(A)+1
連結金具 (TRE-JT-WH/BK)	1	(A) - 1
調光(調色)信号コード	1	

### ■単体 [位相調光・非調光] の場合



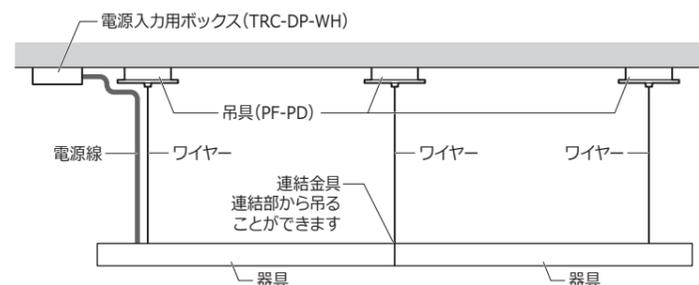
構成部品	数量
器具 (TRE2/TRL/TIE)	1
電源入力用ボックス (TRC-DP-WH)	1
吊具 (PF-PD)	2
ワイヤー (TRC-PWD2300WH)	2

### ■連結 [位相調光・非調光] (TRE2/TRL) の場合 ※最大連結灯数 10台



構成部品	数量	数量の考え方
器具 (TRE2/TRL)	2	器具の数量を(A)とする
電源入力用ボックス (TRC-DP-WH)	1	
吊具 (PF-PD)	4	(A)×2
ワイヤー (TRC-PWD2300WH)	4	(A)×2
連結金具 (TRE-JT-WH/BK)	1	(A) - 1

### ■連結 [位相調光・非調光] (TIE) の場合 ※最大連結灯数 7台



構成部品	数量	数量の考え方
器具 (TIE)	2	器具の数量を(A)とする
電源入力用ボックス (TRC-DP-WH)	1	
吊具 (PF-PD)	3	(A)+1
ワイヤー (TRC-PWD2300WH)	3	(A)+1
連結金具 (TRE-JT-WH/BK)	1	(A) - 1

# 取付方法

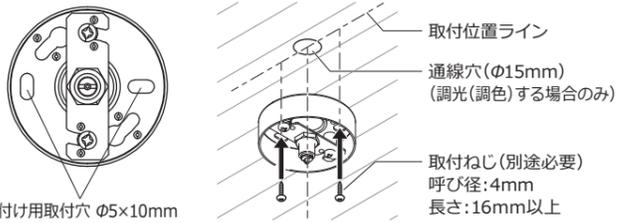
## 1. 取付前の確認

- ・吊り下げる器具全体の質量に十分耐えるよう、取付面の強度を確認してください。
- ・吊具の中心が一直線上になるように位置決めを行ってください。
- ・給電部や調光(調色)信号入力部の器具本体電源用口のロックアウトを取り除いてください。
- ・TRE2/TRLを連結する場合は、器具連結部のサイド板のロックアウトを取り除いてください。TIEを連結する場合は、器具連結部のサイド板を外してください。詳細は器具の取扱説明書をご覧ください。

## 2. 吊具(PF-PDP/PF-PD)の取り付け

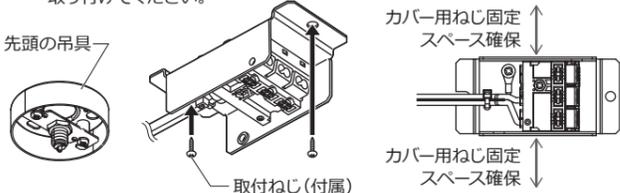
- ① 本体カップから化粧板を外してください。
- ② 本体カップをねじ(別途必要)で直付け用取付穴を使用し、確実に固定してください。
  - ・調光(調色)する場合は、終端にPF-PDPを取り付けてください。
  - ・PF-PDPを取り付ける場合のみ、通線穴(φ15mm)を開けてください。

注意] 本体カップの中心を取付位置ライン(PF-PDPIは通線穴)に合わせて一直線に取り付けてください。

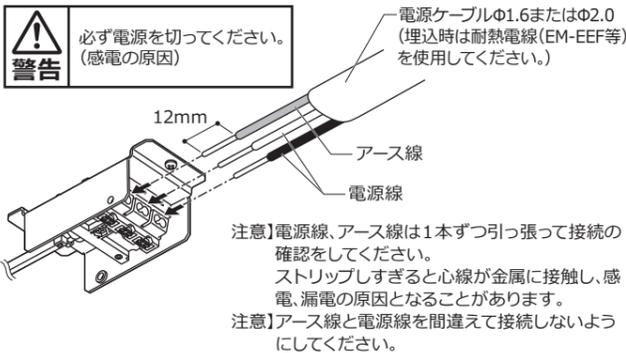


## 3. 電源入力用ボックスの取り付け

- ① カバー用ねじ(2本)を緩めてカバーを外してください。
- ② 本体を付属の取付ねじで取付穴を使用して確実に固定してください。
  - 注意] 器具先頭に取り付けられた吊具の近辺に取り付けてください。
  - 注意] 側面に障害物があるとカバーのねじ止めができません。スペースを確保して取り付けてください。



- ③ 端子台に電源ケーブルを接続してください。



- ④ カバーを取り付けてください。

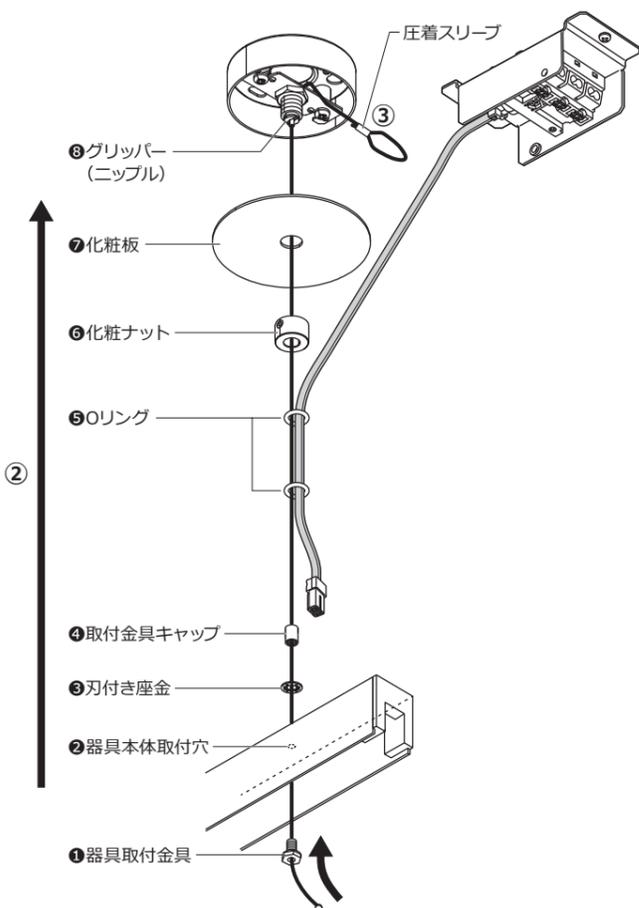
## 4. ワイヤーの取り付け

- ① 器具のLEDモジュールを取り外してください。取り外し方の詳細は、器具の取扱説明書をご覧ください。
- ② 下記の順序にしたがって片ボールワイヤーに部品を通してください。
  - 注意] 順番や向きを間違えると正しい取り付けができません。

### <片ボールワイヤーの挿入順序>

- ① 器具取付金具
- ② 器具本体取付穴
- ③ 刃付き座金
- ④ 取付金具キャップ(器具取付金具に確実に締めこんでください。)
- ⑤ Oリング(始端給電部、終端信号入力部のみ)
  - ・調光信号用PF-PDPを使用する場合は付属のOリングを使用してください。
- ⑥ 化粧ナット
- ⑦ 化粧板
- ⑧ グリッパー(ニップル)

- ③ ワイヤー端部を本体カップから引き出し、末端をループさせ圧着スリーブ(ワイヤーに付属)で確実にかしめてください。
  - 注意] ワイヤーは必要な長さに切断可能です。切断はワイヤー長の調節代を加味し、かしめる前に行ってください。



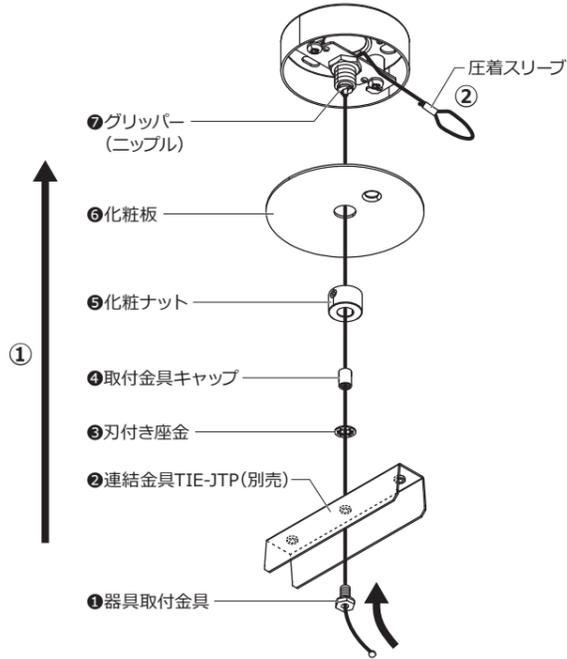
## TIEを複数吊りする場合

- ① 器具連結部は下記の順序にしたがって片ボールワイヤーを取り付けてください。
  - ※TIE複数吊りの場合でも始端と終端は左記と同様にワイヤーを取り付けてください。

### <片ボールワイヤーの挿入順序>

- ① 器具取付金具
- ② 連結金具TIE-JTP(別売)
- ③ 刃付き座金
- ④ 取付金具キャップ(器具取付金具に確実に締めこんでください。)
- ⑤ 化粧ナット
- ⑥ 化粧板(PF-PDP使用時は給電穴がフラツな面(表面)を下向きに取り付けてください。)
- ⑦ グリッパー(ニップル)

- ② ワイヤー端部を本体カップから引き出し、末端をループさせ圧着スリーブ(ワイヤーに付属)で確実にかしめてください。
  - 注意] ワイヤーは必要な長さに切断可能です。切断はワイヤー長の調節代を加味し、かしめる前に行ってください。



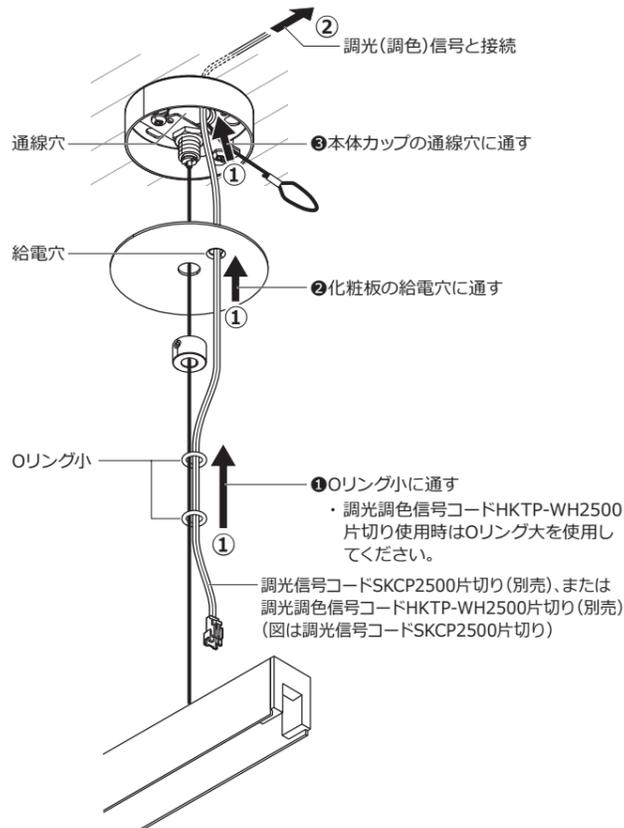
## 5. 調光(調色)信号コードの接続(PWM調光(調色)をする場合)

PWM調光(調色)をする場合は終端にPF-PDPを取り付けてください。

- ① 下記の順序にしたがって調光(調色)信号コードを部品を通してください。

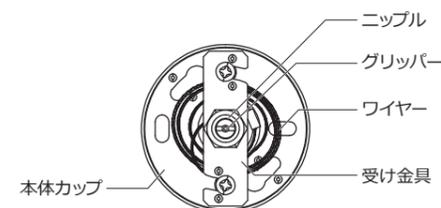
- ① Oリング(PF-PDPに付属)
  - ・調光信号コードSKCP-2500片切り使用時はOリング小、調光調色信号コードHKTP-WH2500片切り使用時はOリング大を使用してください。
- ② 化粧板の給電穴
- ③ 本体カップの通線穴

- ② 調光(調色)信号コードを使用して調光(調色)信号と接続してください。

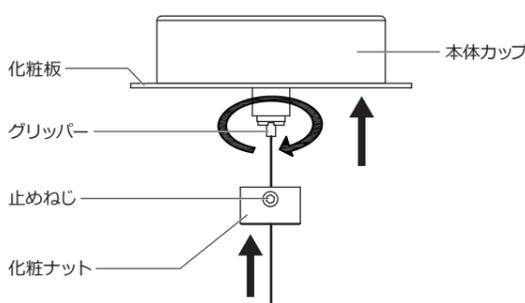


## 6. 化粧ナットの固定

- ・余分なワイヤーは受け金具と本体カップの隙間に収納してください。

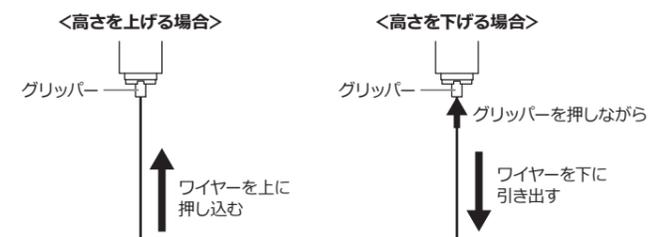


- ・化粧板を本体カップに押しあてた状態で、化粧ナットを締め込み固定してください。
- ・化粧ナットの止めネジを六角レンチ(付属)で確実に締めつけてください。

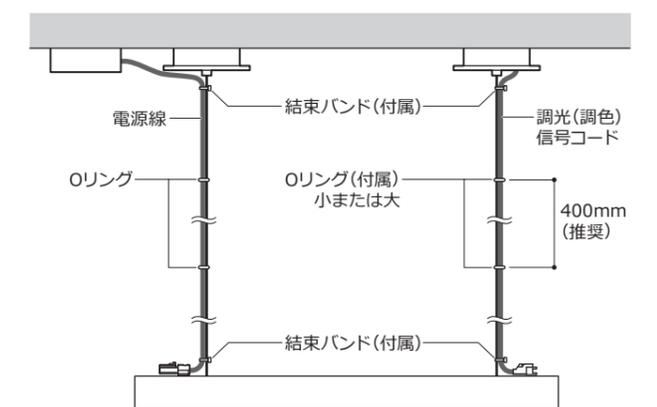


## 7. 器具の高さ調節

- ・器具が水平になるように全てのワイヤーの長さを調節してください。
  - 注意] ワイヤーを調整する際は必ず器具を支えながら調節してください。



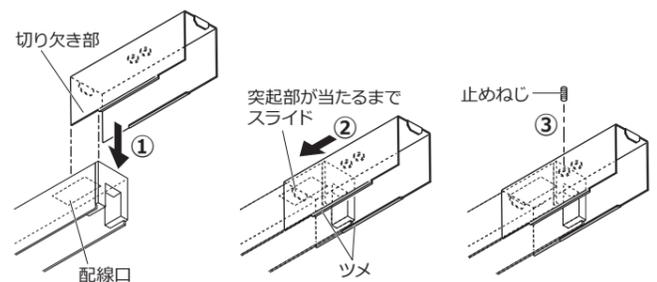
- ・Oリングの位置を調節してください(推奨ピッチ400mm)。ワイヤーに電線をしっかり沿わせたい場合は上下を付属の結束バンドで束ねることをおすすめします。



## 8. 器具の連結(器具を複数吊りする場合)

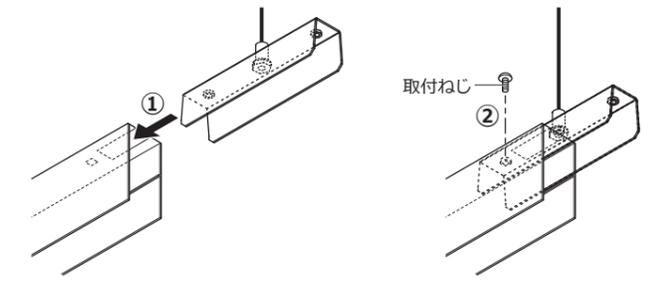
### <TRE2/TRLの場合>

- 連結金具TRE-JT(別売)を取り付けてください。
- ① 連結金具の切り欠き部を器具本体に合わせて、上から被せてください。
  - ② 連結金具の突起部が配線口の端に当たるまでスライドしてください。連結金具のツメが器具本体に引っ掛かっていることを確認してください。
  - ③ 止めねじで固定してください。
- 注意] 器具連結部に強い負荷がかからないように都度高さ調節をしてください。



### <TIEの場合>

- 連結金具TIE-JTP(別売)を取り付けてください。
- ① 連結金具をスライドして器具本体に挿入してください。
  - ② ねじ穴の位置を合わせて、取付ねじで固定してください。
- 注意] 器具連結部に強い負荷がかからないように都度高さ調節をしてください。注意] 器具に付属の連結パーツは使用できません。



電源線、調光(調色)信号コード、器具間の配線、LEDモジュールの取付は、器具の取扱説明書をご覧ください。